



# 大会用データネットワーク機器の包括契約について

2019年02月13日

# 1. 決議事項

東京2020大会において、組織委員会が各ステークホルダーに対して大会用データネットワークサービスを提供するために、ネットワーク製品カテゴリのゴールドパートナーである日本電気株式会社(以降「NEC」)と供給契約(Network Equipment Supply Agreement. 以降「NESA」)を締結し、まずは最低限必要となるネットワーク機器を、リース契約により調達することについて承認を頂きたい。

## 2. 実施内容

- NECから調達するネットワーク機器について、機器の単価（保守費・初期設定費を含む）、およびその他の適用条件をまとめた包括的な契約として、NECと組織委員会の二者間でNESAを締結する。
- 最低発注台数や調達時期の平準化などを取り決めることで、以下の効果が期待できる。
  - ① 価格低減と安定的な調達を実現する。
  - ② 機器の工場での出荷検査、初期設定、保守までをNECが一貫して実施することにより、機器へのマルウェアの混入等のサイバー脅威へのリスクを最小化できる。
- また、大会用機器として比較的短期間の利用であることから、別途選定するリース会社を介した調達とする。

### 3. 契約先および契約期間

内訳：①NESA（製品供給契約）②リース契約

- 契約先：①NEC（ネットワーク機器パートナー）  
②別途決定するリース会社
- 予定調達方式：①特別契約(パートナー供給契約)<sup>※1</sup>  
②リース会社、NEC、組織委員会による  
リースに関する3者契約
- 契約期間：①②契約締結日から2020年12月まで<sup>※2</sup>

※1 本契約では機器の単価を契約し、今後本契約に基づき個別の注文書により調達する。

※2 大会終了以降、引き続きオフィスにて利用する機器を想定し2020年12月までの契約期間とするが、大会終了後に必要な契約延長手続きを行う。また、会場にて使用する機器については順次リース契約を打ち切り遅くとも2020年9月までのリース契約とする。